

山江村議会だより

まるおか

No.44



門松の完成

●新年のごあいさつ

●12月定例議会

平成23年度一般会計補正予算
平成23年度特別会計補正予算

●こんなことが決まりました

一般質問（3議員が村政を質す）
主な議会活動
議会研修報告
編集後記（だんだんなあ）

平成24年1月27日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)22-0105 山江村域内電話 ☎23-3401

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

昨年12月田口議員の議長辞任に伴い、議長に就任いたしました松本です。どうぞよろしくお願いいたします。

西暦2012年、今年はどのような一年になるのでしょうか？多くの方が、日本国は歴史的に大きな曲がり角に差し掛かっているのではないかと感じておられるのではないのでしょうか。

昨年3月11日には日本中を、いや世界中を震撼させた「東日本大震災」が発生いたしました。今回の地震と津波は平安時代以来1000年に一度という大きなものでした。又、絶対に安全だといわれていた原子力発電所も事故を起こし、多量の放射能を周辺へ放出してしまいました。

「東日本大震災」によって2万人近くの方が帰らぬ人となりましたが、そのご家族や遺族の方々、住宅等に甚大なる被害を受けられ今も仮設住宅暮らしを余儀なくされている方々を始め、被害を受けられたすべての関係者に対し衷心よりお見舞いを申し上げます。

新聞・テレビを通じて被災地の見渡す限りの瓦礫の山を見たとき、私は太平洋戦争敗戦直後の東京の焼け野ヶ原を思い起こしました。あれから60有余年、今東京は見事に甦り更に発展しています。願わくば人類の英知を結集して、東日本大震災による被災地の一日も早い復旧・復興を待ち望むものであります。

大地震・大津波は天災ですが、原発事故は人災です。それも電力関係者や日本国政府ばかりではなく、日頃から電気の恩恵を多大に受けている私たち国民一人ひとりの責任となる人災でした。私たちは今一度自分自身の生活を見つめなおし、日本国の電力需給をどうするのか、エネルギー政策をどうするのか、一人ひとりが考え直す時期に来ていると思います。

国では通常国会が開会中です。消費税増税を伴う「社会保障と税の一体改革」、環太平洋諸国で貿易自由化を目指す「TPP参加」の是非、約1,000兆円にも及ぶ国債・地方債の償還、等々課題難題山積の日本国ですが、この国を良くするのも悪くするのも国民一人ひとりの責任です。政治家や他人のせいにはせず、自分の責任でよりよい社会の実現にみんなが責任を持つ、そのような2012年でありたいと願っています。

歴史は日々の私たちの生活の積み重ねの中から生まれてきます。毎日の暮らしの中から、より暮らしやすい山江村の建設のために、皆様の声を議会議員・議会事務局まで届けていただきますようお願い申し上げます。

村民の皆様にとって、倅多き一年でありますことを心よりお祈りいたします。



山江村議会議員
松本 佳久

【表紙写真の説明】

- 「山田小学校ICT活用公開授業・研究発表会」の様子
12月2日、山田小学校において、ICT（情報通信技術）を活用した公開授業と研究発表会が開催され、全国各地から教育関係者や企業関係者など300人以上が参加しました。
- 「役場入口の門松」
12月16日、12月定例議会を終え、議会全員で役場入口に門松を設置しました。材料はそれぞれが持ち寄り約1時間半程度で完成しました。

平成23年12月定例議会報告

新議長に松本佳久氏を選出

平成23年12月定例議会は、12月14日から16日までの3日間の会期で開催されました。14日に開会し、田口議長から提出されていた議長辞職願について、臨時議長により仮議長を選出し承認したあと、臨時議長の指名推薦により満場一致で、新議長に松本佳久議員を選出しました。その後議事に移り提案理由の説明、15日は一般質問で3人が登壇し、16日に質疑・討論・表決が行われ、委員会審査報告（平成22年度一般会計および特別会計決算の承認）9件、条例1件、補正予算5件、要望1件、陳情2件が原案のとおり承認・可決・採択（1件は委員会付託）され閉会しました。

平成23年度一般会計予算

山江村の一般会計補正予算（第5号）は、歳入歳出それぞれ2,914万4千円を追加し30億2,439万8千円となりました。

歳入は、地方交付税や国県の補助金等の確定に伴うもので、歳出は熊本県知事選挙費395万9千円、障害者福祉費537万8千円、老人福祉費288万円、林業施設災害復旧費651万9千円、予備費937万円などが主な内容です。

■ 歳 入

※補正された款のみ掲載しています

【単位：千円】

款	補正前の額	補正額	計	補正額の説明
地方特例交付金	5,818	939	6,757	地方特例交付金
地方交付税	1,518,202	20	1,518,222	普通交付税
分担金及び負担金	29,248	430	29,678	老人福祉施設 農業施設等整備負担金
国庫支出金	348,954	13,904	362,858	障害者福祉サービス負担金 子育て支援交付金 社会資本整備総合交付金 地域生活支援事業 林道施設災害復旧事業補助金
県支出金	256,134	6,397	262,531	社会福祉費負担金 児童福祉費負担金 障害者福祉費補助金 農業費補助金 選挙費委託金
諸収入	57,013	6,254	63,267	後期高齢者医療返納金 (財)熊本県市町村振興協会補助金
村債	245,660	1,200	246,860	林業施設災害復旧費債
歳入合計	2,995,254	29,144	3,024,398	

■ 歳 出

※補正された款のみ掲載しています

【単位：千円】

款	補正前の額	補正額	計	補正額の説明
議 会 費	71,906	74	71,980	共済費
総 務 費	503,716	10,426	514,142	総務管理費 徴税費 戸籍住民登録費 県知事選挙費 統計調査費
民 生 費	635,669	15,556	651,225	社会福祉費 児童福祉費
衛 生 費	350,372	416	350,788	保健衛生費
農 林 水 産 業 費	330,064	△4,582	325,482	農業費 林業費
商 工 費	26,004	821	26,825	自然休養村施設管理費 温泉センター管理運営費
土 木 費	366,219	△10,795	355,424	土木管理費 道路橋梁費
消 防 費	107,521	0	107,521	防災行政無線維持管理費
教 育 費	153,969	1,339	155,308	小学校費・中学校費・社会教育費 保健体育費
災 害 復 旧 費	51,860	6,519	58,379	林業施設災害復旧費
予 備 費	88,305	9,370	97,675	予備費
歳 出 合 計	2,995,254	29,144	3,024,398	

平成23年度特別会計補正予算

【単位：千円】

会 計 区 分	補正前の額	補正額	計	補正額の説明
国民健康保険事業	484,128	0	484,128	高額療養費補助への充当
簡易水道事業	284,255	13,371	297,626	中央地区簡易水道施設整備工事
農業集落排水事業	164,492	0	164,492	消費税への充当
介護保険事業	454,942	25,797	480,739	システム改修費 施設介護サービス給付負担金
ケーブルテレビ事業	38,912	255	39,167	点検委託料

こんなことが決まりました

《議決結果》

議 案	議決の結果
・山江村議会仮議長の選挙について	推薦当選
・議長辞職の件について	承認
・山江村議会議長の選挙について（追加議案）	推薦当選
・平成22年度山江村一般会計決算の認定について（委員会報告）	認定
・平成22年度山江村特別会計国民健康保険事業決算の認定について（委員会報告）	認定
・平成22年度山江村特別会計老人保健医療事業決算の認定について（委員会報告）	認定
・平成22年度山江村特別会計簡易水道事業決算の認定について（委員会報告）	認定
・平成22年度山江村特別会計農業集落排水事業決算の認定について（委員会報告）	認定
・平成22年度山江村特別会計後期高齢者医療事業決算の認定について（委員会報告）	認定
・平成22年度山江村特別会計介護保険事業決算の認定について（委員会報告）	認定
・平成22年度山江村特別会計ケーブルテレビ事業決算の認定について（委員会報告）	認定
・平成22年度山江村特別会計工業用地等造成事業決算の認定について（委員会報告）	認定
・山江村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
・平成23年度山江村一般会計補正予算（第5号）	原案可決
・平成22年度山江村特別会計国民健康保険事業補正予算（第2号）	原案可決
・平成22年度山江村特別会計簡易水道事業補正予算（第2号）	原案可決
・平成22年度山江村特別会計農業集落排水事業補正予算（第2号）	原案可決
・平成22年度山江村特別会計介護保険事業補正予算（第2号）	原案可決
・平成22年度山江村特別会計ケーブルテレビ事業補正予算（第3号）	原案可決
・国民健康保険財政への国庫負担割合をふやすことを求める意見書の提出に関する陳情	採 択
・山口地区簡易水道の設置を求める要望書（16区）	採 択
・「住宅リフォーム助成制度」の実施を求める陳情書	委員会付託
・議員派遣の件	原案可決
・閉会中の継続審査申出書 （議会運営委員会）（議会活動調査検討特別委員会）（経済建設常任委員会）	継続審査



・施政方針について

①人材の育成、活用について
(職員の研修体制と人材の活用施策)

中 竹 耕 一 郎 議員

質問 役場職員の研修育成及び経費は？

答弁(総務課長) 通常の研修に加え本年は特別に東日本震災への人的派遣の研修費を計上した。

質問 来年度も東日本震災関係の派遣研修予算を計上されるか？

答弁(村長) 被災状況を見極め派遣の要請があれば適宜対応していく。

質問 団塊世代の退職により役場職員の構成はどのように変化したか？

答弁(総務課長) 18歳から35歳までの職員が61%を占めている。

質問 この年代の若手職員の双肩にかかっている。今後若手職員に対してはどのような研修計画があるのか？特に留意することは？

答弁(村長) 要はいかに目的意識と自覚をもって自分を磨くかが大切。各種研修会に積極的に参加させ資質の向上を図っていく。

質問 先般国会陳情の折の研修で自治大学卒業による繋がりがもとで有意義な研修ができた。自治大学校、村おこしにかかる実地研修など職員の派遣があるのか？

答弁(村長) 自治大学校派遣の予算は確保している。総合的に検討して新年度予算に計上する。

質問 共同試験事務に関した事件につ

質問 共同試験事務に関した事件につ

いて村長の認識は？何が原因なのか？どのような処理をするのか？

答弁(村長) このようなことがあつてはならない。過失の度合いを見ながらある程度重き処分をする。役場一丸となつて職員研鑽に努めていく。

要望 誰にでも間違いはある。事後処理が肝要である。非は非として認め反省しスピーデイに対処すべきである。

質問 シルバー人材センター及び「時代の駅むらやくば」の人材育成は不十分でないか？財政的に支援する必要があるのでは？

答弁(村長) 行政改革委員会の意見では補助金は切るべしとの回答があつた。独立採算で頑張つて欲しい。

要望 団体の運営状況を再確認されて実情を正確に把握されたい。

質問 ケーブルテレビスタッフの人材育成について村長の認識は？

答弁(村長) 山江型のケーブルテレビを誇れる組織に作りたい。スタッフの条件整備を整え全国に発信できる体制にしていく。

要望 役場で働いている職員、派遣、委託、臨時職員等93人について決して使い捨ての感覚でなく人を育てる観点から、米百俵の精神で最大限努力を望む。

質問 本村の高齢化率と医療機関への受診状況は年々増加の傾向にあり、生活習慣や食生活改善のための管理栄養士配置の計画内容や生活習慣病対策について

答弁(村長) 本村住民の疾病受診状況から1人当たりの国保医療費額や介護保険費用額は、都市や県下で最も高額である。早急に予防対策として食同源から総合的な公衆栄養マネジメント能力が求められている。即戦力となる管理栄養士の採用については、選考試験後採用は平成24年4月1日を予定している。採用後は、山江型福祉拠点づくりの推進に伴い、村民の健康を守る係の再編と効果的な対策を進めて行く。

答弁(健康福祉課長) 生活習慣病の予防対策については、高齢化により疾病構造も変化している。適度な運動指導や食生活の改善また、検診率を高める取り組みを更に進めて重篤疾病に移行しないことが大事、併せて医療費の軽減にもつなげていきたい。

質問 本村で2番目に多い歯周疾患の

質問 本村で2番目に多い歯周疾患の

質問 本村で2番目に多い歯周疾患の



・国保医療とその課題について

・村内道路等不具合箇所について

西 孝 恒 議員

質問 本村の高齢化率と医療機関への受診状況は年々増加の傾向にあり、生活習慣や食生活改善のための管理栄養士配置の計画内容や生活習慣病対策について

答弁(村長) 本村住民の疾病受診状況から1人当たりの国保医療費額や介護保険費用額は、都市や県下で最も高額である。早急に予防対策として食同源から総合的な公衆栄養マネジメント能力が求められている。即戦力となる管理栄養士の採用については、選考試験後採用は平成24年4月1日を予定している。採用後は、山江型福祉拠点づくりの推進に伴い、村民の健康を守る係の再編と効果的な対策を進めて行く。

答弁(健康福祉課長) 本村ではその対策については、国保人間ドック、がん受診者で節目年齢40歳、50歳、60歳について歯周疾患検診をセットとしてしているが、受診者は少なく十分と認識している。また、歯周疾患の予防早期発見治療が生活習慣病の効果的な予防になることからその認知度を高めるとともに提案内容について十分検討し、より効果的な対策を進める。

質問 村内の道路等不具合箇所について

答弁(建設課長) 今年の梅雨時期は近年にない大雨により村内も被害を受け県及び本村も災害発生時に急ぎ的な復旧作業を実施している。また、現場の構造上現状復旧出来ない箇所や多額の経費がかかる事業については、国の補助を受け行うこととされている。各箇所ともさらに対処方法などを検討し県へ要望していきたい。

質問 本村で2番目に多い歯周疾患の

質問 本村で2番目に多い歯周疾患の

質問 本村で2番目に多い歯周疾患の

質問 本村で2番目に多い歯周疾患の

質問 本村で2番目に多い歯周疾患の

質問 本村で2番目に多い歯周疾患の

質問 本村で2番目に多い歯周疾患の

質問 本村で2番目に多い歯周疾患の

質問 本村で2番目に多い歯周疾患の

質問 本村で2番目に多い歯周疾患の

一般質問



・国民健康保険事業について

- ① 特定検診受診率について
- ② 国民健康保険税について

岩山正義 議員

質問 40歳から74歳の国保加入者を対象に、特定検診・特定保健指導が義務化され5年後の義務達成率65%が、来年度となっているが受診率は、どのようになっているか。

答弁（健康福祉課長） 23年度はまだ確定していません、22年度（51.1%）と同程度と思う、達成は厳しいが全力で取り組んでいく。

質問 達成率を下回ると国からのペナルティにより村の負担が多くなるが、受診率向上の対策は。

答弁（健康福祉課長） 受診しやすいよう工夫をしているが、さらに検診の重要性を説明し、きめ細かな取り組みを行っていく。

質問 国保税の現年度分の収納率が、平成19年度では94.2%あったが年々下がり平成22年度の決算では91.6%である、以前は収納率によるペナルティがあったが、廃止により収納率が下がり滞納が増えてきているように思える。収納率向上対策をどのように考えているか。

答弁（税務課長） 納税は国民の三大

義務の一つである、払いたいけど払えない方には分納による納税をお願いしている。本年度から県及び隣接市町村による併任徴収を取り入れ、滞納整理の技術の向上及び法律に基づいた滞納処分を行い徴収率の向上に努めていく。

質問 国保世帯数が年々減少し、税額も減少している中、医療費は増加し収納率は下がる現状であるが、状況をどのように把握しているか。

答弁（税務課長） 景気低迷による村民所得の減少などが原因とみている。

答弁（村長） 昨今の経済情勢をみると、納税者にとっては生活に追われ厳しいことは承知しているものの、納税は国民の義務である、収納率が91%ではどうにもならない、職員の配置等も考え収納率向上に努めたい。

質問 年末等の課長以上による特別徴収は現在どのようになっているか。

答弁（税務課長） 2名の徴収専門職員がおり、毎月戸別訪問、電話による催促、夜間徴収等を実施しており現在は行っていない。

議会の主なうごき

月日	行 事	月日	行 事
11.13	民主党熊本県総支部連合会山江村要望箇所視察	12.12	球磨郡町村議会正副議長・事務局長合同会議
11.14	道州制・地域主権改革キャラバン対応	12.14~16	平成23年第9回12月山江村議会定例会
11.16~19	第55回全国町村議会議長大会 球磨郡町村議長会産業行政視察	12.22	人吉球磨広域行政組合議会定例会
11.18	人吉球磨広域行政組合議会運営委員会	12.28	議会広報編集特別委員会
11.20	第29回やまえ産業振興まつり	1.1	大王神社元旦祭
11.21	球磨郡町村議会議長会	1.4	成人式
11.22	総務常任委員会・経済建設常任委員会連合審査	1.6	消防出初式
11.24	総務常任委員会・経済建設常任委員会連合審査	1.7	山江村新春のつどい
11.25	人吉球磨広域行政組合議会定例会	1.8	安全祈願祭
11.28	人吉下球磨消防組合議会定例会 川辺川総合土地改良事業組合議会定例会	1.11	小規模多機能型在宅介護事業所起工式
12.2	議員懇談会	1.12	球磨郡町村議長会
12.6	議会運営委員会	1.15	新春駅伝大会
12.9	村道城内神園線道路新設工事起工式	1.19	議会広報編集特別委員会
		1.20	議会全員協議会

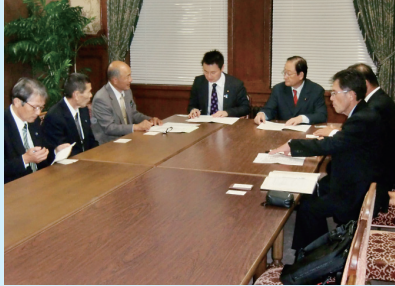
議会研修報告

山江村議会は、11月9日から11日までの3日間、平成24年度主軸事業の国会への要望活動を行いその後、議会活動および定住化促進事業の先進地研修を行いました。

9日は、午前中国会議事堂内の民主党陳情要望対応本部へ要望書を提出した後、地元選出国議員を訪ね山江村の現状、課題を説明し、平成24年度事業要望を行いました。

2日目は、定住化促進事業により人口が増加傾向にある北海道厚真町を研修、3日目は日本で最初に議会基本条例を制定した栗山町議会との意見交換を行いました。

民主党本部・地元選出国議員へ平成24年度事業要望



民主党陳情要望対策本部への要望活動



(松村参議への要望)



(金子代議士への要望)



栗山町議会との意見交換



大自然のなかの定住者住宅(厚真町)

厚真町は北海道の南部太平洋側に位置し、雪が少ないことから、道内をはじめ全国各地から移住者があり、分譲宅地の造成や空家バンクなどの定住化促進事業を進めています。



万江地区の現地を調査する一行

◀ 民主党熊本総支部連合会が山江村を現地調査

山江村議会は10月25日に、民主党熊本県総支部連合会に対し、平成24年度主軸事業や村の懸案事項について要望活動を行いました。

これに対して11月13日、民主党熊本県総支部連合会最高顧問で参議院議員の松野信夫氏ら一行5名が山江村を訪れ、山江村が抱える課題等について意見交換を行ったあと現地調査を行いました。

議会広報委員	委員長	中竹 耕一郎
副委員長	西 孝恒	
委員	松本 佳久	
谷口 予志之		

山江村議会も昨年4月に改選が行われ、議員一同その「絆」が地域と行政の絆となるよう取り組んでまいります。この一年が村民皆様にとり健やかで実りある年となることをご祈念申し上げます。
(谷口 予志之)

このような災害を機に人と人との「絆」という言葉が注目され、お互い助け合うこと、皆で力を合わせることに素晴らしさを実感した一年でもありました。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。

さて昨年を振り返りますと3月に発生した東日本大震災、9月の台風による土砂災害と日本中が自然の猛威にさらされ国土保全と自然環境の保全・再生の重要性を改めて認識させられた一年でありました。被災されました方々の一刻も早い復興を祈るばかりでございます。

だんだんなあ